

「アブラハムの執りなしの祈り」

2025.4.9

聖書に学ぶ8

創世記 17 章～18 章

「執りなしの祈り」とはどのような祈りでしょうか。主が成そうとしておられることが、私たちの執りなしの祈りを通して、変更されることがあるのでしょうか。

アブラハムの執りなしの祈りを通して、聖書は多くのことを私たちに教えています。

今日の学びの要点

- ・ 神様に選ばれたアブラハムは、信仰による執りなしの祈りをすることによって、神様に用いられました。祈るアブラハムにしっかり寄り添われたように、神様は私たちが祈るときも寄り添い、ご自身を求める者に報いてくださいます。

I、アブラハムの信仰回復

1、時が来て、神様は久しぶりにアブラムに声をかけられました。
それは彼が何歳の時でしょうか。（創世記 17:1）

- ・ 神様のみこころではない事でも、人の思い通りにさせておられることがあります。
しかしやがて、人はその刈り取りをしなくてはなりません。（ガラテヤ 6:7）

2、アブラムが思っていた人間的な計画と神様の計画は違っていました。どんなことだったのでしょうか。（創世記 17:1～8）

① アブラムが思っていた計画（創世記 17:18）

② 神様の計画（創世記 17:19）

③ ヘブル 11:1、11、12 を見ましょう。

神様はこのことで、私たちに何を教えようとされているのでしょうか。

（ルカ 18:27）

Ⅱ、アブラハムの使命

- 1、再度アブラハムに現れた神様は、サラの出産と、もう1つ、大切な秘密を隠さないで語られました。どうしてでしょうか。

(創世記 18:17～19)

- 2、主がソドム・ゴモラの町に行って、確かめようとしたことが2つあります。何でしょうか。(創世記 18:20、21)

①ソドム・ゴモラの叫び…

(その血が、その土地から叫んでいる：創世記 4:10)

②罪の実態 (ローマ 1:22～32)

- 3、アブラハムは主の前に出て、執り成しを始めました。

①ソドム・ゴモラには誰がいたのでしょうか。(創世記 19:1)

②主はアブラハムの執りなしの祈りによって、何を変更されましたか。

全滅 → 10人の正しい人がいれば滅ぼさない (創世記 18:32)

↓

4人しかいなかった → 4人のみ救出 (ソドム・ゴモラ滅亡)

- 4、執りなしの祈りをする上で、必要なことは何でしょうか。

- ・しつこく求める (ルカ 11:8)
- ・主がどういう方かを知っておく (創世記 18:25)
- ・主のみこころを知っておく。(I テサロニケ 4:3)
- ・主ご自身を求めることであって、ただ何かを主に求めることではない。(ヘブル 11:6)